

# 炬火イベント計画、炬火トーチ、炬火受皿

## 実施イメージ

炬火セレモニーは過去から現在、そして未来に向かうストーリーを意識した内容とします

県民の想いやレガシーを  
現役選手へ

国体から大会へ

大会成功と選手の  
活躍を願う

全選手の健闘を称え  
未来へ

### 炬火イベント

4月～8月  
採火

各市町で採火

### 国体 総合開会式

9月25日  
炬火集火・点火

29市町の火を1つに集火  
炬火台に点火

### 国体 総合閉会式

10月5日  
炬火分火・納火

炬火台の火を大会に分火  
分火後、炬火台の火を納火

### 大会 開会式

10月23日  
炬火点火

大会の火を炬火台に点火

### 大会 閉会式

10月25日  
炬火納火

炬火台の火を納火

## 炬火トーチ



全体的なカラーはパールホワイトで真珠を表現

トップの形は恵み豊かな三重の海と緑あふれる三重の山々を表現

中心から持ち手の部分は三重県の伝統工芸である「伊勢型紙」をイメージ

長さ73cm 重さ約750g

## 炬火受皿



前回国体（S50年）で使用した神社の社殿をイメージした受皿のデザインを踏襲

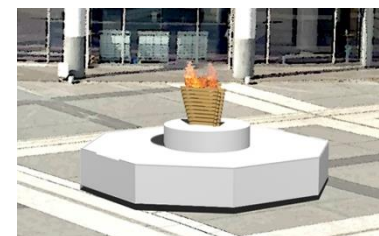
木材部分はS50年頃に植樹した県産材を使用

縦横40cm 高さ46cm

## 炬火台

前回国体（S50年）で使用した神社の社殿をイメージした炬火台のデザインを踏襲

祝祭広場に可動式炬火台を設置し、両大会終了後には県有施設での展示を調整中



炬火台イメージ